



# やまだ

No. 169

2020. 11. 1発行  
岩手県山田町議会

## 議会だより



佐藤町政3期目

**所信をただす - 2P** シリーズ **家族の笑顔**

税金の使い道

**令和元年度決算審査 - 5P**

**町の考えは (10人が一般質問) - 10P**

9 月  
定例会

長崎地区在住の竹内さん家族。  
町への提言、思いを伺いました。  
(関連記事P20)



9月  
定例会の  
あらまし

令和2年9月定例会は8月21日から9月18日まで29日間にわたって開かれました。  
初日には、町長が向こう4年間の所信を表明。町長提案の議案20件を審議し、全て原案のとおり可決しました。  
(2～4ページ)

元年度決算8件は、決算特別委員会を設置して2日間にわたって集中的に審議し、全て原案のとおり認定しました。(5～8ページ)  
一般質問では10人の議員が登壇し、活発な議論が行われました。(10～19ページ)

# 佐藤町政 3期目の所信をただす

## 復興の先を見据えた

## 新たなチャレンジに挑む

**定** 例会初日、佐藤町長は、3期目の町政を担当するに当たり、町政全般にわたる所信表明を行いました。

町長は、町政1期目について『民間感覚を行政に』の思いを胸に、山田町の復興を確実に果たすべく、走り続けてきた。2期目について『思いやりのある政治』を政治理

念として掲げながら、ハード面の整備のみならず、町民の皆様一人ひとりの思いと心の復興を大切にし、町政運営に当たってきた」と振り返りました。その上で、3期目となる4年間については「これまでの信念をいささかも変えることなく、これまで以上に町民の皆様の声に耳を傾けな

がら、一つひとつ政策を実行していく所存であり、『誠実・実行』を基本姿勢として、力を尽くしていく」との思いを語りました。

**具** 体的な施策として今回出馬する際に掲げた6項目の公約について説明し「最優先課題として取り組んできた『震災からの復旧・復興』は今



◆佐藤町長が今回出馬するにあたって掲げた公約

- 台風第19号からの復旧
- 新道の駅の建設
- 山田小学校の建設
- 山田北インターのフル化への要望強化
- 水産・商工業への支援
- 幼稚園・保育園の再編

## 織笠地区復興交付金事業

# 震災復興町道舗装補修工事を可決

**復** 興事業により損傷した織笠地区の町道3

路線の舗装を補修するため、「織笠地区震災復興町道舗装補修工事」の請負契約が提案され、全員賛成で可決しました。

▽工期

2年9月23日～

3年2月16日

▽受注者

三好建設株式会社

## ■工事の概要

▽施工延長

1476・0メートル

(町道織笠・外山線)

1295・0メートル

(町道織笠・礼堂線)

386・0メートル

(町道竜泉寺線)

▽請負金額

1億7270万円

## ■質疑応答

**問** 損傷具合が軽微な箇所

の施工は不要ではないか。また、工事費の財源は何か。

**佐藤建設課長**

調査の結果、舗装の損傷状態はひび割れ率が中度の15から35パーセントで確認されており、早急な修繕が必要と判断したもので、一体的に施工することで効率

性を高めている。財源は復興交付金である。



補修される織笠地区の町道（赤い線が施工箇所）

## 定例会 主な議決議案の内容

定例会で議決した主な議案の概要をお知らせします。どの議案も原案のとおり可決しました。

### ■ 1 災569号河川災害復旧工事の請負契約の締結

昨年の台風19号で被災した長内川の河川護岸や河床について、災害復旧工事請負契約締結の議案が提出され、全員賛成で可決しました。

▽受注者 富山建設有限会社

▽請負金額 7370万円

▽工期 2年9月23日から3年3月15日まで

### ■ 1 災222号河川災害復旧工事の請負契約の締結

昨年の台風19号で被災した田名部川の河川護岸について、災害復旧工事請負契約締結の議案が提出され、全員賛成で可決しました。

▽受注者 有限会社佐藤建業

▽請負金額 4486万9千円

▽工期 2年9月23日から3年3月15日まで

### ■ 一般会計補正予算

小学校空調設備設置工事費などの計上を目的とした一般会計補正予算（第5号）を可決しました。

年度で10年の節目を迎える。今回示した施策は、復興の先、次のステージを見据えた新たなチャレンジに挑もうとする、私の決意を現すものである。わが町を、次の世代に継承・発展させていく

ための持続可能なまちづくりは、これからの4年間が正念場であると強く思っている」と決意を表明しました。これに対し、10人の議員が一般質問に立ち、8人の議員がそれぞれの立

場から所信をただし



### 固定資産評価 審査委員会委員 再任に同意

固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、委員に貫洞氏と齋藤氏を再任することを全員賛成で同意しました。



貫洞 征功氏



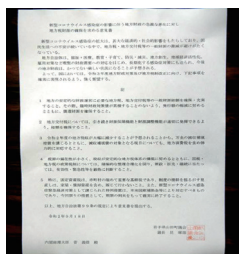
齋藤 茂氏

### 発議案 意見書を提出

9月18日に「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書」が提出され、全員賛成で可決しました。

意見書の内容は、新型コロナウイルス感染症の影響による地方税収の減少に伴い、地方自治体が行政サービスを低下させないよう地方交付税などの確保や減収補てん措置を図るよう求めるものです。

可決された意見書は、内閣総理大臣や衆議院議長など10名に提出しました。



提出した意見書

### 皆さまからの 請願

■「気候非常事態宣言」等を求める請願  
(6月定例会からの継続審査)

▽請願の要旨

①町が「気候非常事態」を宣言すること②気候変動状況の周知徹底③家庭や企業の4Rの徹底④町内で利用するエネルギーを2050年までに再生可能エネルギーに完全移行すること⑤町外の自治体・団体等とも気候非常事態を認識し、連携すること

▽提出者

佐々木 泰子 氏

▽紹介議員

木村 洋子 議員  
黒沢 一成 議員

▽付託委員会

総務教育常任委員会

▽委員会での結果

審議の結果「不採択とすべきもの」とし本会議に報告

▽賛成討論

木村洋子議員  
地球温暖化を止めるためには、二酸化炭素の排出量を減らす必要がある。気候非常事態宣言を広げていくことは、政府や自治体に具体的な対応を求めていくための大切な足掛かりとなる。豊かな山田の海とこれからの若い世代の未来を守るため、この請願を採択すべきである。

▽反対討論

横田龍寿議員

地球温暖化の原因は、温室効果ガスによるものが太陽の活動によるものか結論が出ていないはずである。またイギリスの気象学会では2023年には氷河期が訪れるという説もある。これらことから反対する。

▽本会議での採決の結果

**不採択**

(賛成2名、反対11名)

### 第3回臨時会 (7月14日)

議案4件を審議し、全て原案のとおり可決しました。

#### 織笠漁港機能保全 (電気防食工) 工事の 請負契約締結を可決

漁港機能保全計画に基づき、老朽化した織笠漁港防波堤の鋼管矢板の補修を行うものです。主に、腐食により穴が開いた箇所への鋼材の巻き付けと鋼管矢板腐食防止のため防食電流を流すためのアルミニウム合金陽極を取り付けるものです。

野口水産商工課長 平成30年度に行った調査では穴が開いた鋼管が多数見つかつた。該当する区域は平成30年9月に立入禁

#### ■質疑応答

問 どの程度腐食しているのか。また、合金陽極の耐用年数は。

野口水産商工課長 平成30年度に行った調査では穴が開いた鋼管が多数見つかつた。該当する区域は平成30年9月に立入禁

止にしている。アルミニウム合金の耐用年数は30年である。防食電流により鋼管自体の腐食を防止できる。アルミニウム合金を交換するかどうかは定期的な点検により判断していく。

### 第4回臨時会 (8月5日)

7月31日付で退職した甲斐谷義昭前副町長の後任として甲斐谷芳一氏を副町長に選任することを賛成多数で同意しました。



甲斐谷 芳一副町長



# 元年度決算審査

## 学校給食センター工事費

### 6億3404万円などを承認

元年度決算について、決算特別委員会を設置して9月17日と18日に審議しました。一般会計では、歳入が202億4587万円、歳出が189億1118万円となりました。

決算特別委員会での集中的な審議の結果、一般会計など全8会計の決算を原案のとおり承認しました。

会計名	歳入	歳出	採決結果	
一般会計	202億4587万円	189億1118万円	賛成12名、反対1名	
特別会計	国民健康保険	22億7963万円	22億4497万円	全員賛成
	後期高齢者医療	1億7782万円	1億7744万円	〃
	介護保険（事業勘定）	18億7860万円	17億8647万円	〃
	介護保険（サービス事業勘定）	289万円	231万円	〃
	漁業集落排水処理事業	1億5380万円	1億5259万円	〃
	公共下水道事業	5億3666万円	5億3511万円	〃

※1万円未満切り捨て

会計名	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出	採決結果
水道事業会計	3億6943万円	3億4016万円	3億294万円	4億2102万円	全員賛成

※1万円未満切り捨て

東日本大震災被災者の医療費免除を継続すべきである。災害公営住宅では独り暮らしの高齢者が多く少ない収入から様々な支払いをしている。これに医療費や病院までの交通費が加われば受診回数が増え、被災者の実情に目を向けるべきであるため反対する。

医療費免除の継続を

木村洋子議員



反対

東洋経済新報社の財政健全度ランキングの最新版によると、山田町は全926町村中81位とのことである。公共事業を行うことも財政健全度が高いことは、バランスのとれた財政運営を示す証左である。今後の復興の次の発展を期待し、賛成する。

健全な財政運営である

横田龍寿議員

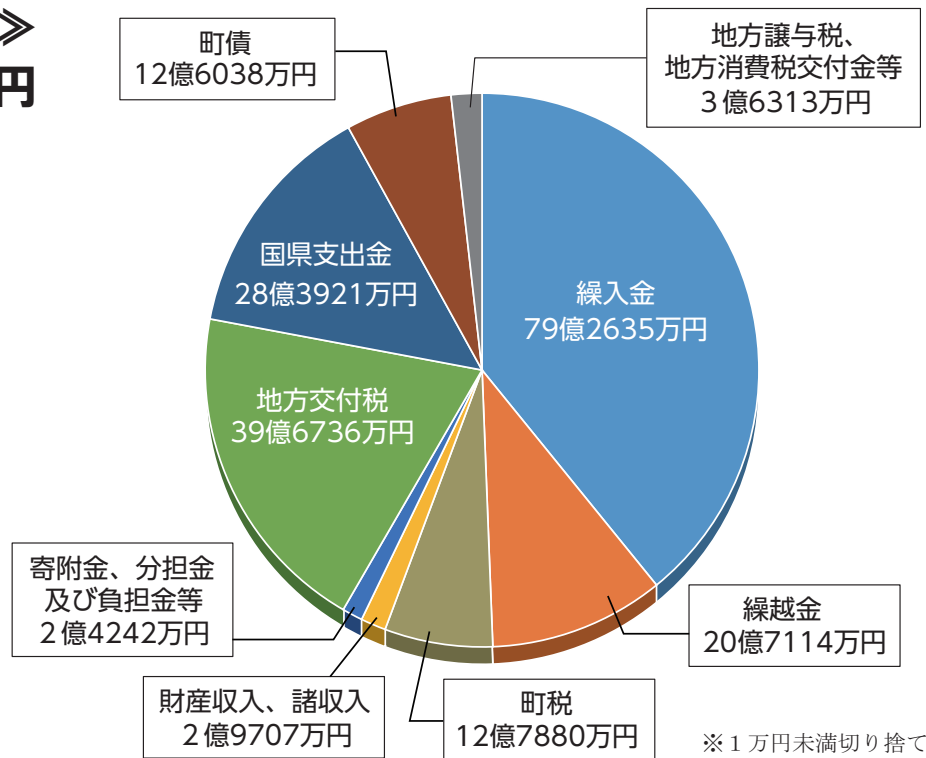


賛成

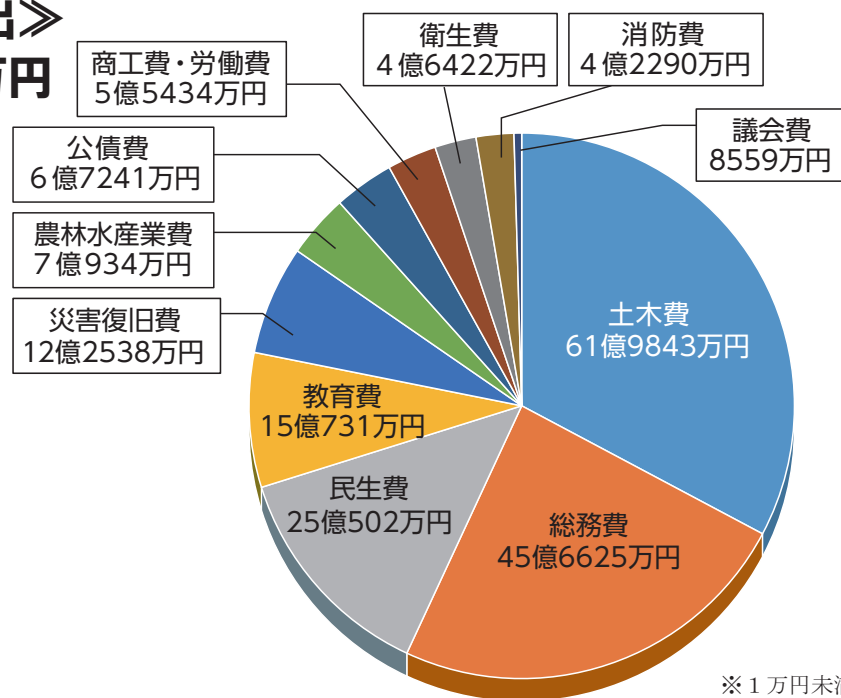
《一般会計決算》  
討論



## 《一般会計歳入》 202億4587万円



## 《一般会計歳出》 189億1118万円



※2 依存財源とは  
国・県補助金などの町で集めたお金  
以外のお金のこと

※1 自主財源とは  
町税などの町で集めたお金のこと

**減** 額の主な要因は、歳入歳出共に東日本大震災関連事業の進捗に伴い事業費が抑制されたことによるものです。

**歳** 出は189億1118万円で30年度より174億4986万円（48・0%）の減となりました。

**自** 主財源（※1）は町税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金などで118億1578万円となり、依存財源（※2）は地方交付税や国県支出金、町債などで84億3008万円となりました。

**令** 和元年度一般会計決算は、歳入が202億4587万円で平成30年度より181億8631万円（47・3%）の減となりました。

**決算**  
の  
**焦点**



# 決算を チェック

委員会での  
審査の概要を  
お伝えします。

## 被災地域情報化推進補助金 補助金の内容は

**問** 国庫補助金の被災地域情報化推進補助金と無線システム普及支援事業費等補助金の内容は。

**総務課** 被災地域情報化推進補助金は、震災復興土地地区面整理事業により整備された山田第1団地周辺に、地上デジタル放送の受信が困難な区域が発生していたため、その地区の長崎飯岡地区テレ

ビ共聴組合に助成し、難視聴解消を図った事業であり、町から共聴組合に支払った分が総務省から町に交付されたもの。

無線システム普及支援事業費等補助金は、本庁舎や小中学校など、14カ所の避難所等に公衆無線LANを設置した費用に対する補助金である。

## 給食センター

### 食育の取り組みは

**問** 給食調理業務委託の中で食育に関連した取り組みを図っているか。

**学校教育課** 各家庭に対して献立表を配布するとともに、栄養教諭が各校に出向いて授業を行うことを予定している。また、地場産品を用いた給食の提供も行っていく。

**問** 地場産品を活用した給食を通じて、山田の子



季節のイベントではいつもと違うメニューも  
(写真は七夕のメニュー)

どもたちをどのように育てる考えか。

**教育長** 給食は子どもの思い出に残るものと考えている。可能な限り地場産品を使った給食を提供したい。また、よく噛むことで脳の活性化や体力の向上にもつながるので、給食を通じて子どもたちの「人間」を丸ごと育てていきたい。

## 町税滞納繰越収入未済

### 増えた要因は

**問** 個人町民税滞納繰越分の収入未済額が前年度と比較して300万円ほど増えているが、なぜ増えたのか。

**税務課** 昨年の台風19号により被害が発生したため滞納処分執行を控えたことや、新型コロナウイルス

イルス感染症により催告書の発送等を控えたことにより増となった。

※ 滞納繰越とは  
賦課された年度に収納されなかった税金などを、次の年度に繰り越して収納する際に設ける項目のこと

## 町職員の人材育成

### 若手の育成方法は

**問** 若手職員の育成はどのように行っているのか。

**総務課** 町では職員研修計画を策定している。市町村研修協議会が主催する研修のほか、経験年数に応じた各種研修を行っている。新採用職員は、町長・副町長の講話、外部講師によるビジネスマ

ナーなどの研修も行って

**問** その他の研修を行う考えはあるか。他市町村との人事交流も職員にとつてはいい刺激になると思うがどうか。

**総務課** 必要な研修は適宜行っていく。人事交流についても機会があれば行っていきたい。



# 決算を チェック



委員会での  
審査の概要を  
お伝えします。

## シルバーリハビリ体操

### 安全対策をして再開を

**問** シルバーリハビリ体操の3級指導者養成講習会を町で開催していることだが、2年度は新型コロナウイルスの影響で開催できるのか。

**長寿福祉課** 感染症対策

をとって開催できるように調整している。  
**要望** この体操は高齢者の介護予防に非常に効果的なので、講習会と併せて体操自体も再開できるようにお願いする。



シルバーリハビリ体操でいつまでも元気に

## 町道街灯

### 積極的なLED化を

**問** 街灯のLED化を進める計画があるのか。  
**建設課** 計画はないが、故障等で灯具を交換する際、LED灯に交換するようにしている。

**要望** 電気料金を下げる観点からも積極的なLED化をお願いしたい。また、通学路の街灯も増やすよう検討してほしい。

## 森林づくり事業補助金

### 事業の拡大は

**問** この補助金は間伐等に対する補助であると思うが、2年度は対象者を拡大するのか。  
**農林課** 制度の周知により、2年度は利用者が大幅に増えている。

**問** さらなる制度の周知と、防災も意識した森林づくりをする考えは。  
**農林課** 本事業は、県の事業にかさ上げして行っているため、県と連携して推進していきたい。

## 公共下水道

### 接続率・普及状況は

**問** 山田・織笠地区の接続率が38・6%であるが、目標値は何%か。  
**上下水道課** 最終的には75%を目指す。

**問** 下水道接続工事の補助金等を活用しながら、接続率の増加に努めているのだが、補助金を増額する考えはないか。  
**上下水道課** 補助金は現



下水道は山田の川や海を守ります  
(写真は長崎地区の下水道工事の様子)

行のまま、制度の周知を図っていく。  
**問** 柳沢地区、特に災害公営住宅には早期に下水道を通してほしいとの声も聞かれますが、見通しは。  
**上下水道課** 柳沢地区に新道の駅が建設となることから、5年くらいから徐々に供用できるように進めたい。



# 議会活動報告

議会の活動を皆さまに知ってもらうために、議会の活動内容を取り上げてお伝えします。

## 産業建設民生

### 常任委員会

7月17日、新型コロナウイルス感染症に対する町の各課の取組を調査するため、所管事務調査を実施しました。

調査の対象は、健康子ども課、長寿福祉課、水産商工課、農林課、建設課、都市計画課、上下水道課の7課で、感染拡大防止施策や事業者への補助、イベントや町営工事への影響などを聞き取りました。

## 議会改革検討

### 特別委員会

9月14日に開催した委員会では、議会を改革するための検討項目を協議しました。協議の結果、①タブレット端末の導入 ②インターネット中継の導入 ③常任委員会の在り方 ④議会基本条例直し ⑤議員定数見直し ⑥議員報酬見直しの6項目が挙げられました。

当面の間、6項目のうちタブレット端末の導入、インターネット中継の導入、常任委員会の在り方の3項目を重点的に検討していきます。

## オランダ島視察

7月27日、議会では震災後約9年ぶりに供用が再開となるオランダ島の視察を、8月1日の供用開始前に実施しました。7月20日に設置工事が完了した浮棧橋や遊歩道などを見学しました。



オランダ島の遊歩道と船から望む浮棧橋

## 表紙の写真を募集しています

### あなたの写真で議会だよりの表紙を飾りませんか？

#### ◆募集写真のテーマ

子どもや家族の写真、地域等での行事、町内の好きな風景など

#### ◆写真の規格

カラーの縦写真（合成や組写真は不可）jpeg形式（2～4メガバイト程度）、撮影者自身に著作権があり、未発表のもの

#### ◆応募方法

必要事項を記入した応募用紙と応募写真をメールで送っていただくか、CD、DVDに保存して次の宛先まで持参または郵送してください。

#### ◆宛先

メール：gikaijimu@town.yamada.iwate.jp  
住所：〒028-1392 山田町八幡町3番20号  
山田町議会事務局

#### ◆締切

第170号掲載分は12月18日（金）とします。その後も随時募集します。

その他、詳細事項は町ホームページに掲載していますのでごらんください。

※応募用紙も町ホームページに掲載しています。

## 議会を傍聴しませんか

次の定例会は**12月15日（火）から12月18日（金）**に開催される予定です。お気軽にお越しください。



町営建設工事

最低制限価格の算定方法は

入札状況に合わせ見直し



阿部 幸一 議員  
( 新 生 会 )

**問** 工事発注の際の最低制限価格や予定価格の算定方法について見直しを検討してはどうか。

**佐藤町長** 建設工事における最低制限価格は、必要に応じて見直しを行っており、今後も入札の状況を分析しながら、最低制限価格の算定方法について検討していく。なお、建設工事における予定価格は平成23年4月制定の町営建設工事に係る予定価格の設定等に関する要領により、予定価格は工事設計額とすると定めており、別途算定しているものではないことから、今後も現要領の定めにより実施していく。

新型コロナウイルス

感染者への不当な非難対策は

チラシを配布し周知

**問** 新型コロナウイルスに感染していることが分かれば、不当に非難され、周囲に迷惑がかかる、県内では症状があっても相談や受診をためらう方がいると聞く。こう

いった方の対策について、町はどのように考えているか。

**町長** この感染症は誰もが、罹患し得るものであり、感染された方々やその関係する方々などに対

する偏見、誹謗中傷は決して許されるものではない。町民の皆様にはご理解をいただくようチラシを配布するなど、引き続き周知していく。併せて、発熱等で体調の悪い

方は、症状の重症化を招く危険があるので、帰国者・接触者相談センターや医療機関へ相談することを勧めていく。

台風19号

公共土木施設の被害額は

約11億7900万円の査定

**問** 山田町の台風19号の被害被害について、公共土木施設の被害は金額にしてどの程度か。また、災害復旧事業費の総額はどのくらいの見通しか。

カ所で約3200万円、下水道施設が1カ所で約1億9000万円、全体で約11億7900万円の査定を受けている。また、災害復旧事業費の総額については、現在実施設計を進めながら、順次工事発注を行っているところであり、査定額程度になるものと見込んでい

**町長** 公共土木施設の被害については、国の災害申請対象分では、道路が32カ所で約5億5500万円、河川が17カ所で約4億2000万円、公園が2



台風19号被害の様子



山崎泰昌議員  
(政和会)

# 子育て支援の追加策は

## 独自支援を行う

**問** 国民一律10万円交付事業では新生児に対しては年度途中に期限を付けてしまった。本来ならば年度内の出産については国が補助すべき案件だと今でも思っている。当町では、少ない新生児に對し、同じ年度内においては、国の政治の至らない点を町がカバーしてもいいのではないかと。川守田復興企画課長 国からの臨時交付金が決定されたので、町独自に2年度内の新生児に対しては、「新生児子育て支援臨時給付金」として給付する。

きとの見解を示した。これほどまでに子どもを3人以上産み、育てるのは現代では大変なことであり、また非常に喜ばしいことだと考える。当町でもせめて長寿祝金と同額の額を給付してもよいのでは。

**佐藤町長** 当町では第3子以降の給食費免除などの施策を行っている。そういう施策の積み重ねが重要である。少し時間をいただきたい。



子育て世帯に寄り添った支援の継続が重要

### 台風19号被害

## 国・県要望だけでなくスピード感を

### 町としても把握に努める

**問** 田の浜コミュニティセンターの後背地や、荒神海水浴場への道路など各種災害を受けた場所は今後の災害により重大な被害が予想される。国、県への要望以外に町独自の施策は。

**野口水産商工課長** 荒神に行く金浜線と開拓道路は現在通行止めである。開拓道路は道幅が狭く、現状では車1台しか通れない。待避所を設けなければ活用は難しい。

**佐藤建設課長** 山腹の崩壊や地滑りなどが懸念される箇所については、その把握に努め、国や県に對し堰堤などの早期の整備を要望している。

## 漁業資源の回復を

### バックアップしていく

**問** 現在まで、ウニ、アワビ等の資源回復を図ってきた。新たな増養殖技術の確立を考えているが、資源回復の施策は継続するのか。

**水産商工課長** 現在、漁協と話し合いながら考えている。

**水産商工課長** 今後も資源回復については、継続

**水産商工課長** 現在、漁協と話し合いながら考えている。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについて所信を聞き、報告や説明を求め、疑問点をたずねることであります。



# 閉校舎で 環境制御型農業漁業をしては

## 町が主体となるのは難しい



横田 龍寿 議員  
(政 和 会)



地域コミュニティ活性化への活用が期待される旧校舎

**問** 閉校した校舎等の利活用について現時点での案はあるか。小規模の環境制御型農業施設、増養殖施設、アクアポニクス施設等を設置し、地域コミュニティを巻き込んで運営すれば、食育、地域のコミュニティの活性化等、一石数鳥になると考えるがどうか。

**佐藤町長** 閉校となった校舎等の利活用計画については、維持経費削減や施設の老朽化等の観点から、民間等への譲渡または解体、既存の老朽化した公共施設の機能移転や地域自治会等での活用、災害時の避難所としての利用などを基本方針として定めたところである。一方、全国的に猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症に対応できる風水害時の避難所の安全性を確保するため、閉校施設を含む施設の利用が必要となることから、最終的な決定には時間を要するものと考えている。次に、閉校舎等を活用した環境制御型農業な

どの施設整備については、費用面、販路、実施事業者の選定など大きなリスクを伴う事業であることから、町が主体となつて実施できる事業ではないと考える。

**問** 町が主体となつてできる事業ではないということだが、〇〇小学校校舎、〇〇小学校の体育館をこういった事業で使いたいという事業者があった場合にはどのように対応するのか。

**川守田復興企画課長** 事業者の方が使いたいというのであれば願ってもない事だと考える。しかし現在新型コロナウイルスの関係で避難所運営の際ソーシャルディスタンスの確保、発熱者の避難など体育館を含め校舎の活用も考えなければならぬ。その辺の状況を見極めながら判断する必要があると考える。



### アクアポニクスとは？

従来の水耕栽培と養殖とをかけあわせた環境保全型農業で、魚のふんを微生物が分解し植物が吸収・浄化された水が再び魚の水槽へと戻るシステム。水産養殖を意味する「アクアカルチャー」と水耕栽培を意味する「ハイドロポニクス」からなる造語。

#### その他の質問

- ◆ プレミアム付商品券の追加発行について
- ◆ ホタテ貝毒に係る経済支援について
- ◆ 役場本庁舎の建て替え計画について
- ◆ 幼稚園・保育園の再編について

# 新型コロナウイルス

## 感染家族の一時預かりの場は

### 確保する考えはない



議員 関 清 貴  
(政 和 会)

**問** 新型コロナウイルス感染症はついに県内で確認された。陽性者がでて困るのは要介護者、障がい者等の家族であると思うが感染者の家族が別々に一時暮らすことができず、確保する考えはないか。

**佐藤町長** 在宅ケアが受けられるよう事業者と連携した支援体制に努めていることから、宿泊場所などを確保する考えはない。

**問** 濃厚接触者となった場合の家族の居場所は。濱登健康子ども課長 感染者本人は入院、濃厚接触者家族は検査結果が出るまでは感染対策をとったうえで、自宅待機ということになる。

## 小中一貫校の是非を聴き検討しては

### 学校運営協議会等で議論

**問** 小学校の建設場所は中学校エリアで考えているようであるが、小中一貫校の是非を議論し、検討するよい機会と考えるが、また、メリット、デメリットは。

**佐々木教育長** 小中一貫校導入の是非を含め教育

の在り方を議論することは大切。今後、学校運営協議会などの場で議論する機会を設けたい。メリットは中一ギャップの解消、不登校数の減少、9年間の系統的指導による学力向上に効果があると言われている。デメリットは小学校卒業式や中学校入学式が無く節目の意識が低くなり、切り替えが困難となる。小学校高学年のリーダー性を育む機会が少なくなることなどが考えられる。

**問** 山中和山高の連携を図り、町の歴史、未来の

姿を学び、町づくりの原動力となる人材育成を学習の場で取り組んでほしい。

**教育長** 中学校の総合的な学習の時間や高校のふるさと探求の時間等を活用し、生徒たちが町づくりの意識を高めるようにしていきたい。

## 関口川洪水浸水想定区域の住民周知は

### 町ホームページで公表

**問** 関口川洪水浸水想定区域が公表されたが川沿いの住民、施設等に危険区域等の周知を考えているか。

に避難所を兼ね整備する考えは。

**川守田復興企画課長** 現時点で総合計画にはない。公共施設総合管理計画で検討したい。

**町長** 住民等への周知については、町ホームページで公表しており、県と共催して地元住民への説明の場を設ける予定。

**問** 川沿いにある関谷、関口の集会所を高い場所



高い所への移設が望まれる浸水想定区域内に建つ「関口農業担い手センター」

- ◆ 県立宮古恵風支援学校への通学方法について
- ◆ 通学路への防犯カメラの設置について
- ◆ 農漁業の人材育成について
- ◆ 幼稚園・保育園再編の進め方について
- ◆ 財政運営の見通しについて

#### その他の質問



# 新道の駅の全体計画は

## 道路・観光が一体となった施設



議員 昆 清 (新 生 会)

**問** 山田ICに近接する「新道の駅」の建設計画について、その全体計画の具体的内容は。

**佐藤町長** 基本設計業務に着手し整備内容の策定を進めており、産直施設、飲食施設、24時間トイレ、道路・観光情報コーナー等が一体となった建物施設をはじめ、駐車スペース、イベントスペース、子どもたちが遊べる緑地広場等を設置する計画である。特に飲食施設については、カキをはじめとした当町の特産品をバーベキューなどで自ら調理して飲食できる施設を考えている。また、新道の駅を訪れる観光客等に対し、映像技術の活用による無人島体験ツアーやマリントーリズム並びにマリントーリズム

の体験案内を行う情報発信基地としてオランダ島と相乗効果を図りたい。



新道の駅建設予定地の柳沢地区

### 新たな水産振興は

### 海面魚類養殖の事業化を目指す

**問** 水産振興として新しい増養殖技術の確立や養殖魚種の研究開発に着手するようだが。

**町長** 地球温暖化による海洋環境に対応した漁業を推進していくため、健康なサケ稚魚の育成試験、また、アサリ増産に

向けた干潟の環境保全やカキ殻の海底敷設によるナマコ増殖試験に取り組む。新しい養殖魚種の研究開発として、トラウトサーモンなど海面魚類養殖の事業化に向け、実証試験の着手を検討しているところである。

### 山の内地区のバス計画は

### コミュニティバス化の検討

**問** 三陸鉄道再開以降、山の内地区を通る公共バスがなくなり、皆様が不便をされているが循環バスの計画変更等により、利便性を高める計画はないか。

ティバス化を進める中で検討していきたい。

**町長** 交通弱者や高齢者の移動手段の確保、交通空白地の解消は「山田町地域公共交通網形成計画」で重要課題として捉えている。バス事業者に対して運行の可能性について打診・要望するとともに、町独自として公共交通の利便性、交通不便地域の解消に向けた取り組みとして、「まちなか循環バス」の本格運行、「患者輸送バス」のコミュニティ



公共バス運行が待たれる山の内地区

#### その他の質問

- ◆ コロナ禍の観光振興について
- ◆ 技術職員不足の解消について
- ◆ ケアマネージャーの現況について

# 役場庁舎へ エアコン設置すべきでは

## 来年夏までに設置する方向



佐藤克典 議員  
(政和会)

**問** 今年8月に入ると猛暑が続き、8月11日には、危険な暑さとされる36度を記録した。近年、温暖化によって気温の上昇が顕著になっている。特に、今年も新型コロナウイルス感染症予防のため、マスクの着用で体感温度は上昇し、体への負担が増している。来庁者、職員の適正なる体調管理、熱中症予防のために、役場庁舎にエアコンを設置すべきと考えるがいかがか。

**佐藤町長** この猛暑については来年以降も続くものと見られ、暑さ対策の必要性を強く感じている。手続きや会議等で来庁する方の体調管理や、職員の業務効率を考慮

し、来年の夏までにはエアコンを設置する方向で進める。

### 山田北インターのフル化

### 要望基礎調査業務委託は 実施されたか

### 速やかに着手できるように 努める

**問** フル化が実現した場合、物流への好影響、そして救急医療を担う宮古病院への所要時間の大幅な短縮と地区住民にとっては真に命を守る道路となる。要望強化の基礎資料となる山田北インターフル規格化要望基礎調査業務委託は実施されたのか、その結果と内容は。

**町長** この調査は、今後、国への要望活動に備え、基礎資料を作成することを目的としている。現在、調査対象企業の選定や委託業務内容の精査を行っている段階であり、速やかに着手できるよう努める。

**問** 基礎調査業務委託事業について説明された

**佐藤建設課長** 山田北インター周辺の立地企業に対して、物流の輸送量、手段、現時点での課題・要望、また救急搬送時におけるフル化への必要性を整理するための調査である。

**問** フル化実現には国を納得させる、確たる理由、説得力のある資料により訴えることが不可欠だと思ふ。この調査は、そのバックデータと成り得るものと思ふので早期に実施されたい。

**町長** 調査をしっかりと行い、宮古市と協力して三陸国道事務所の力も借りながらフル化が実現できるように進めていく。

### 豊間根支所兼集会所の 建設時期は

### 7年度の供用開始を目指す

**問** 豊間根支所・生活改善センターの建設についての具体は、もちろんこれからのことだと思ふが、いつ頃を目標に建設を進めたいのか。また場所、規模について伺う。

**町長** 老朽化やトイレ環境の改善など、施設の充実を求める声に対応するため、建設事業化について検討する。現時点で詳細な内容は確定していないが、7年度の供用開始

を目指し、地域の意向を聞きながら進めていく。**問** 規模はどれくらいか。また、地域での懇談会は開催するのか。**川守田復興企画課長** 規模は織笠コミセン程度の面積を想定。懇談会は開催する。

**問** 障がい者用トイレについても設置すべきと考えるがどうか。**復興企画課長** 設置することで進めたい。



建て替え予定の生活改善センター



震災被災者医療費

免除継続すべきでは

慎重に判断する



木村 洋子 議員  
(日本共産党)

**問** 県保険医協会が行った被災者アンケートでは、来年から医療費の窓口負担が発生した場合、「通院に支障がでる」と答えた人が6割に達し、「新型コロナウイルスの影響で収入が減り、医療費免除で本当に助かっている」などの切実な声が多数寄せられている。当町においては、高齢で独り暮らし、国民年金受給の被災者が多い実態もあり、来年も医療費免除を継続すべきでは。

**佐藤町長** 現在岩手県を中心に県内全市町村で検討が行われている。この結果を踏まえ、被災者の状況、国保財政の見通しなどを十分に考慮した上で、慎重に判断したい。

一般質問  
台風19号被害

中村橋下の河川復旧は

11月頃工事予定

**問** 昨年の台風19号で被害を受けた河川の改修やしゅんせつが進んでいない。手つかずの状況のまま台風シーズンに入れば、越水し、住家等が被害を受けるのでは。

が高いと認められた箇所などを優先に、順次工事に着手している。

**問** 豊間根川の中村橋の下は、河床が強い川の流れてめくれ上がり、数珠つなぎのようなコンクリート片が起立している。障害物だけでも早くに撤去すべきでは。

**町長** 現在災害復旧事業による施工推進に努めている。被害の大きかった準用河川については、改良整備を進めていく方針である。被災箇所が多いため、災害査定で緊急度

**鳥居都市計画課長** 県に伝えており、今年11月頃、工事に入る予定のことである。

新型コロナウイルス対策

経済的支援策は

周知の徹底と支援に努める

**問** 雇用調整助成金と休業支援金・給付金は、新型コロナウイルス感染症で経済的影響を受けた中小事業者や、休業手当を受けないことができなかった労働者にとって、重要

な支援策であるが、周知が不十分である。困っている事業者と労働者に支援が届くように、周知や申請手続等の支援に努めるべきでは。

**町長** 岩手労働局のホー

ムページでの公表や新聞広告などが行われている。引き続きハローワークや商工会と連携し、事業者や労働者に対する周知支援に努める。



早期改修が望まれる台風19号で被災した豊間根川

- その他の質問
- ◆ 豊間根と船越小学校へのエアコン設置について
  - ◆ 事業継続支援金の範囲拡大について
  - ◆ 災害公営住宅への入居緩和について

# シーカヤックの利用促進

## 可能な限り対応したい



黒 沢 一 成 議 員  
( 無 所 属 )

**問** 浦の浜にシーカヤック艇庫が完成した。夏休み中は利用されているようだったが、実績はどの程度か。利用には3日前までの予約が必要だが、夏休み期間中は、当日の利用申し込みも可とすべきでは。

**佐藤町長**

7月1日の

オープンから8月31日までの2カ月で利用者数は118人。夏休み期間における当日申し込みによる利用は、インストラクターの増員や配置調整が必要となるが、可能な限り対応できるように検討する。



山田湾はシーカヤックで海上散歩を楽しむ適地です

◆町民プールについて

その他の質問

### 放射性廃棄物拒否条例

#### 必要性を見極め検討

**問** 国では、放射性廃棄物の最終処分場受入れ地を探している。宮古市、釜石市では放射性廃棄物を持ち込ませない条例を制定した。また、普代、大槌、田野畑、野田では

る障害から守るため、山田町でも放射性廃棄物を持ち込ませない条例を制定するべきでは。

条例案または制定を求める請願が審査中である。将来の世代を放射線によ

**町長** 本町に放射性廃棄物の最終処分場を受け入れる考えはないが、条例化については、制定の必要性を見極めながら検討する。

#### 防災緑地公園

#### 国との協議調ったか

#### 調った、計画に基づき進める

**問** 田の浜の防災緑地の復旧に関して、7月1日号の広報には、中央部に避難路兼用の開口部を設けるとあった。その後、国との協議の結果は。計画通りに実施できるのか。また、町の負担はどの程度になるか。

国との協議が調った。今後は、6月に策定した「令和元年台風第19号からの田の浜地区復旧方針・復旧整備計画」に基づき、令和5年度中の完成を目指し事業を推進していく。町の負担については、実施設計段階であり、工事費は確定していないが3割程度と見込んでいる。

**町長** 防災緑地公園中央部に、6メートル程度の避難路兼用の開口部を設けることは、7月までに



# 台風19号被害の整備計画は

## 3年度中の完成を目指す



議員 菊地 光明  
( 新 生 会 )

**問** 台風19号被害からの復旧整備計画について、策定しようだが、田の浜地区の今後の整備計画について詳しく述べよ。

**佐藤町長** 田の浜地区の復旧整備計画については、計画期間を2年度から5年度までの4年間とし、水害からの復旧と防災性強化を目的に各種対策を推進することとしている。防災緑地公園の中央部を横断する車道については、改良整備計画の中で、陸間とともに公園区域内を通る避難路として整備することで国に事業計画を申請していたが、7月までに、都市公園を対象とした事業としての協議が調った。工事については、本年度中に着手し、3年度末までの

完成を目指す。また、県事業である砂防堰堤は5年度の完成を目指している。

**問** 田の浜コミセンから下流の水路の整備はいつになるのか。

**佐藤建設課長** 田の浜コミユニティセンターからの水路については、準用河川女川の改良整備として3年度中の完成を目指している。



早急な改修整備が必要な準用河川女川

### 第2分団屯所の計画は

### 3年度中に建設する

**問** 田の浜地区の第2分団屯所について、建設場所や年度について示せ。

**町長** 田の浜地区の第2分団屯所については、田

の浜地区船越第8団地東側の町有地内に、3年度の建設を計画し、現在設計業務を進めているところである。

### 大沢ふるさとセンター整備計画は

### 5年度供用開始を目標

**問** 大沢ふるさとセンターについて、新たな施設として整備する計画のようだが、その計画場所とタイムスケジュールについて述べよ。

治会等の意向を聞きながら進めていく。

**町長** 大沢ふるさとセンターについては、現施設の改修、既存施設の活用など検討を進めてきたが、新しい施設として整備すべきであると判断し「新たな施策への挑戦」としたものである。建設場所、タイムスケジュールについては、現時点で詳細な内容は確定していないが、5年度の供用開始を目指し、地域住民、自



改築が望まれる大沢ふるさとセンター

#### その他の質問

- ◆船越小学校と豊間根小学校のエアコン設置について
- ◆来年の成人式について
- ◆山田北インターフル化について
- ◆文教エリアの計画について

# 台風19号被害からの復旧について

## 二次被害拡大の未然防止に努める

**問** 各地域の復旧の方向性が策定され誠に心強いことであるが、完成までの間にさらなる異常気象による被害が懸念される。そのような状況を踏まえ対応策について問う。

**佐藤町長** 本復旧まで時間を要する現場には大型土のう設置、河床土砂のしゅんせつなど応急的な対応に努めている。

**問** 異常気象による完了前の二次被害を想定し、

それぞれの地域の皆さんにしっかりとした説明、きめ細やかな情報提供と対応行動により二次被害防止に努めるべきでは。

**鳥居都市計画課長** 復旧工事について住民説明会は行っていないが、今後周辺地域へは工期・工事内容等の情報提供に努める。気象情報等を確認し業者と連携し土のう等の対応を含めて危機管理に努めていく。



議員 豊間根信 (政和会)



早期復旧が待たれる長内・新田地区河川



繋地区

その他の質問

- ◆ 新道の駅の建設について
- ◆ 水産・商工業への支援策について
- ◆ 持続可能な町づくりについて
- ◆ 新しい養殖魚種研究開発について
- ◆ 幼稚園・保育園の再編について

## 山田北インターチェンジ「フル化」早期実現へ

### 今後の要望強化に向け 期成同盟会との連携を図る

**問** 実現に向けて取り組んでいくとの強い思いは地域においても非常に心強く喜ばしい限りである。今後の積極的運動展開について問う。

**町長** 三陸沿岸道路の全線開通が間近となりつつある現状を踏まえ、宮古市をはじめ期成同盟会とも連携し、適切かつ効果的なタイミングで行う必要があると考えている。

**問** 各市町村においてもフル化について、それぞれ

れが同じような思いであると思う。近隣の企業の皆さん地域の皆さんの協力を得て、実現に向けて施策展開をすべきでは。

**佐藤建設課長** 物流等の調査を実施し課題・必要性を整理して国に理解を求めていく。企業の皆様に対するヒアリング調査を実施するなど、地域・町で一体感を持って実現に向けて取り組み対応していく。

## 豊間根支所兼集会所施設建設について

### 7年度の 供用開始を目指す

**問** 待望の実施計画であり今後の取り組みスケジュールについて問う。

**町長** 老朽化やトイレ改

善、施設充実を求める声に対応するため、地域住民・自治会等の意向を聞きながら進める。



# みんなの「声」

Vol. 13

町民の皆さまからの町への提言、思いなどを紹介します。  
表紙(1ページ)に登場いただいた家族にお話を聞きました。

**長崎地区在住の竹内さん家族** ※右上から  
**充(まこと)さん**  
**亮心(いっしん)くん(7歳・長男)**  
**理良(りら)さん**  
**心遙(こほる)ちゃん(4歳・長女)**

## 町全体で子育てを!

町の良いところは  
都会過ぎず田舎過ぎずバランスが取れていて、住んでいる人たちも優しく暮らしやすいところです。

町に期待することは  
町全体がみんなので子育てをする、そんな環境を作ってほしいです。

子どもたちに望むものは  
友達みんなと仲良く、のびのびと育ってほしいです。

## 傍聴席からひとこと

戸田 清美さん

No. 55

令和2年第3回町議会定例会において、町総合計画、町財政、水産、観光、教育、社会福祉、防災災害対応、新型コロナウイルス関連等の一般質問を傍聴させていただき、改めて町の平成28年度から10年間の構想の期間として策定された計画・基本理念に目を通すことができました。

山田ICに近接する「新道の駅」構想についてオランダ島との相乗効果を図る質問に対する思案として「町に集客するなにかを!」

「時空を超えた絆」山田浦から始まるオランダ交流物語(著:木村悌郎先生)より  
1643(寛永20)年6月7日、南部藩山田浦に入津したオランダ船ブレスケンス号事件、嵐に遭って僚船からはぐれてしまい、食料や水の補給を余儀なくされたブレスケ

ンス号を山田村の漁民はどう見たのだろうか。恐れることなく漁民たちは小舟で近づいて、飲料水や生鮮野菜を船に持ち込み、また、子どもたちも水くみ場を案内するなど、困っていることをわかり海に生きる同じ人間として見過ごさなかった山田の先人たちの素晴らしさと、その受容性の高さは山田の人ばかりではなく岩手の人たちにも誇れる事実だと思います。のちに船員たちは、親切にあしらってもらったので親切に接したと記されているそうです。  
まだまだ掘り起こせば出てきそうな歴史秘話、逸話を話される「語り部」の役割が相乗効果をもたらし、次世代を担う子どもたちへと語り継がれていくことを願っています。

## あとながき

▼町議会議員に選出していただいていた1年が過ぎました。初期の仕事に山田町学校給食センター竣工記念式典への出席がありました。  
▼もうすぐ東日本大震災からの復興完遂、次は発展だと思っていた矢先、観測史上最大の時間雨量を記録した台風19号での被災、我々被災地住民にとっては泣きつ面に蜂でした。そして今度は新型コロナウイルスと課題、難問は山積しておりますが、町民の皆様、佐藤町長をはじめとした役場職員の皆様、同僚議員の皆様と力を合わせて乗り越えたいと思っております。▼私個人の政策、サラリーマン的に働く事が出来る農林漁業について今後も研究してまいります。(横田龍寿)

### 発行責任者

議長 毘 暉 雄

◆議会広報編集特別委員会

委員長 菊 地 光 明  
副委員長 阿 部 吉 衛 清

委員 阿 部 幸 一  
委員 横 田 龍 一  
委員 豊 田 幸 一